

一般社団法人北海道国際流通機構のご紹介



一般社団法人
北海道国際流通機構
Hokkaido International Distribution Organization



1. はじめに①

■なぜ今、“輸出”が注目されているのか

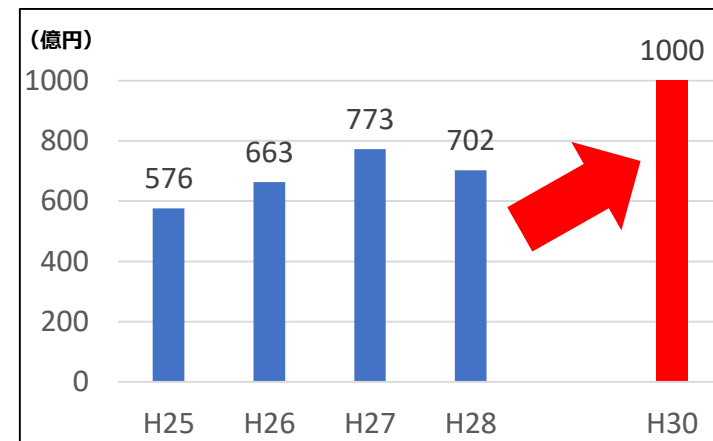
<参考> 行政における農林水産物等の輸出目標

- 国 : 2019年までに1兆円
- 北海道 : 2018年までに1,000億円

【今後、想定される課題】

- 人口減少により国内マーケットが縮小。
- 地方が衰退し、国内取引のみでは厳しくなってくる？

【北海道からの食品輸出額】



※H28までの実績値：北海道農政部の資料より

■課題を解決するキーワードは“つなぐ”

【解決策①：北海道の人口を維持～増加へ】

- 自分たちの子どもが「北海道に残りたい」と思う環境を創り、
北海道への想いを次世代へ“つなぐ”。

【解決策②：新たなマーケットの開拓】

- 北海道と海外を“つなぐ”ことで、海外における新たなマーケットへ進出。

「...理屈はわかるけど、海外はイヤ！」と感じていませんか？ 2

1. はじめに②

それでは、なぜ、輸出になかなか踏み込めないのでしょうか？

■最初の壁：リスクをとりたくない

- 海外での代金の回収
- 海外での高い営業コスト

■次に立ちはだかる壁：そんなのできない、知らない

- 複雑な輸出手続き
- 食品表示の違い ※例：台湾・香港の場合

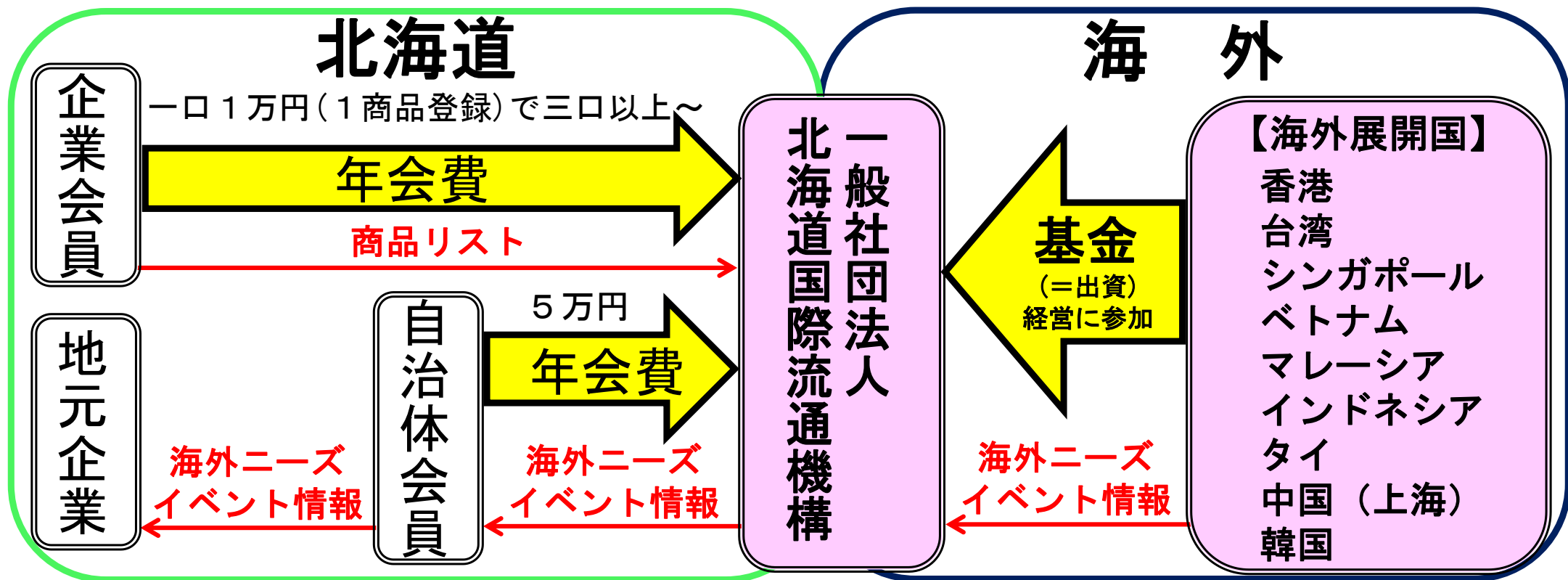
日本	海外
<ul style="list-style-type: none">○熱量(エネルギー)○たんぱく質○脂肪○炭水化物○食塩相当量(ナトリウム)	<ul style="list-style-type: none">○熱量(エネルギー)○たんぱく質○脂肪○炭水化物○食塩相当量(ナトリウム)☆飽和脂肪酸☆トランス脂肪酸

取得するためには
1商品につき約2万円かかる

では、これらを全て解決できたら...？ 私達がそれを可能にします！ 3

2. 機構のご紹介

○HOP推進協議会の民間企業が中心となり、平成29年4月に一般社団法人北海道国際流通機構を新設 **【機構の仕組み】**



○機構による解決策

- ①代金は安心の前払い
- ②海外への営業不要
- ③面倒な輸出手続き不要

【利用者の声】

- 海外輸出が年会費30,000円でトライできるのは嬉しい。
- 海外に担当者がいてくれるので、旬な情報が手に入った。
- 前入金で支払ってくれるから、国内取引よりも好条件だね。
- 煩雑な書類作成に手間取った経験があるからこれは便利。
- 輸出のプロがいるから任せて安心だった。
- 商品を登録したら、香港から早速、注文が入った。

3. 機構のサービス

○海外販売サービス

STEP1 <輸出可否調査>

会員の売りたい商品が輸出できるのか、商品登録前に機構が海外へ確認。

企業会員のメリット

海外の為替リスク、在庫リスクを負うことなく、安心・簡単に輸出が可能に！

STEP2 <商品登録>

- ミニマムロット(最小発注単位)
- 交渉開始時の価格
- 商品画像
- セールスポイントなど

STEP5 <商品輸出>

機構が輸出手続きを行い、海外へ輸出。

STEP3 <海外販売>

- 海外営業企業が現地でタブレットを用いて閲覧・販売。
- 販売価格や発注ロット等の交渉を機構がサポート。

STEP4 <代金決済>

現地で商談が成立後、機構から会員に商品代金を振込。(=国内決済)

○物流サービス

★小口輸送サービス

○道内から海外の指定先まで、段ボール1箱から輸送し、輸出事務手続き、輸送保険や証明書の取得等も代行。

他社	金額	HOPの料金	差額
<ヤマト運輸> 国際クール宅急便	18,450	9,000	9,450
<郵便局> クールEMS	15,300	9,000	6,300

【例】台湾に100サイズ10Kgの冷凍品を送る場合】

★輸出代行手続き(※大口輸送を利用される場合)

○輸出事務手続、輸送事業者の選定及び価格交渉等を代行。

★ロジスティクス(※大口輸送を利用される場合)

○梱包資材、保冷剤の販売、商品保管業務、詰替作業等。
○ラベルデータの加工、印刷やラベル貼付作業も代行。

○オプションサービス

★商品撮影(※海外販売やネット販売に利用)

○商品受付フォームに使用する写真撮影を代行。

★海外へのアテンド

○機構の展開国で、訪問を希望される企業やお店をアテンド。

★通訳

○海外出張の際の通訳を手配。

★会報誌

○年に2回、海外ニーズやイベント情報等について提供。

4. 基金出資者と会員

○基金出資者一覧(基金合計:15百万円)

国内担当	担当業務
鳥取 義之	全体の統括
株式会社弘和通商	ロジスティクス業務
釧路総合印刷株式会社	広告物作成等
株式会社北海道新聞社	広告活動
海外営業担当	担当国
有限会社マック・プランニング	香港
株式会社スリーサークル	台湾
喜徳洋水産有限公司	台湾
株式会社タクミナフード	台湾
PRIME STREAM Asia PTE.LTD	シンガポール
株式会社インワールド	シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、中国
株式会社イークラフトマン	ベトナム
旭川第一物産株式会社	中国
Best Solution Partner	韓国
越境EC担当	担当業務
株式会社コズミックコミュニケーションズ	越境EC、クラウドファンディング
株式会社北国からの贈り物	越境EC、海外物産展

○企業会員 93社

※企業名は非公開

○自治体会員 12先

- | | |
|------|-------|
| <市> | <町> |
| ○石狩市 | ○森町 |
| ○函館市 | ○ニセコ町 |
| ○小樽市 | ○枝幸町 |
| ○留萌市 | |
| ○旭川市 | |
| ○紋別市 | |
| ○網走市 | |
| ○根室市 | |
| ○札幌市 | |

【平成29年11月24日(金)現在】

5. 自治体会員との連携事例

- 平成29年6月2日(金)～13日(火)の12日間、流通機構と自治体会員の函館市が連携し、台湾の老舗百貨店である遠東百貨にて、函館物産展を開催。
- 機構社員の(株)スリーサークルが、遠東百貨を函館市に紹介して開催が実現。オープニングイベントには、工藤函館市長が参加し、現地メディアにも大きく取り上げられた。
- 会場は板橋大遠東百貨(※)の地下噴水広場であり、人通りが多く、地下鉄駅直結の好立地。
- 12日間における総売上高は約600万元。(日本円で約22,200,000円程/1NT\$ = 3.7円で換算)
- 函館の企業13社が出展。参加企業から、「今回は初めての海外物産展で、不安があったものの、流通機構が輸出を丁寧にサポートしてくれて、さらに現地にまで一緒に来てくれたので、大変心強かった。今後は企業会員としてたくさん輸出していきたい」と、コメントを頂戴した。

(※)板橋区は台湾最大の行政区「新北市」の区であり、台北市のベッドタウン。

オープニングイベント

販売ブース

物産展の様子

現地テレビ局による取材



6. 連携協力協定の締結

国土交通省北海道開発局

【目標】「食の海外展開」及び「世界水準の観光地の形成」(第8期北海道総合開発計画)

【強み】物流基盤に関する知見及び観光等の各分野における地方自治体とのネットワーク

一般社団法人北海道国際流通機構

【目標】道内企業のサポートによる北海道産品の輸出促進

【強み】海外経験の豊富な社員及び輸出業務に関する知見

連携協力協定の締結 (平成29年6月16日(金))

○開発事業に係る輸出促進を通じた観光振興及び地域振興に関する取組

- ・「道の駅」や「みなとオアシス」における「海外おみやげ宅配便」の導入
- ・小口混載コンテナ輸出の取組

○北海道内の地方公共団体に対する北海道産品の輸出支援に関する取組

- ・輸出に関する地方自治体への助言

○広報及び啓発に関する取組

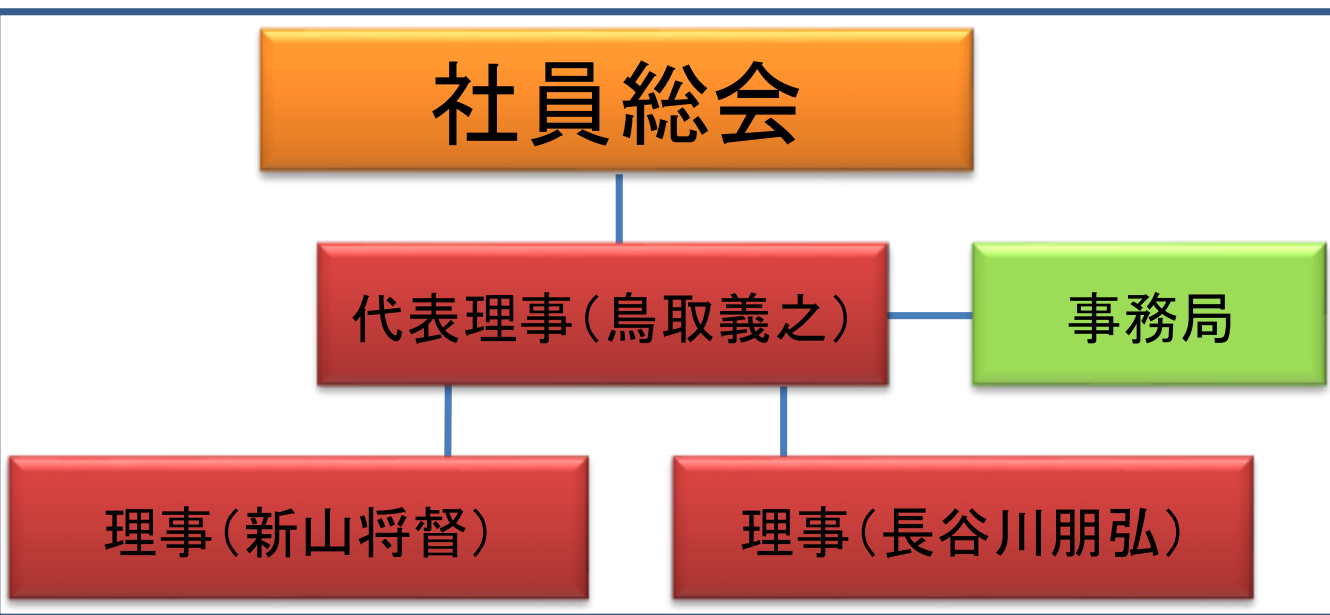
- ・北海道の輸出促進に関するセミナーの開催 ...等



7. 輸出促進検討委員会

- 行政関係者や有識者で構成する輸出促進検討委員会を設置。
- 委員会は、機構による輸出促進に関して助言及び意見交換を行う。

機構の組織図



【委員会の参加団体】

- 北海道開発局
- 北海道経済産業局
- 北海道農政事務所
- 北海道
- 北海道商工会議所連合会
- 北海道経済連合会
- 札幌商工会議所

